

Cente Technical Information

発行番号	010-0004	Rev	第1版	発行日	2020/12/21
題名	HTTPScがキープアライブ動作中に再接続に失敗する現象について				
情報分類	障害情報				
適用製品	・ Cente HTTPd/c Ver. 1.61				
関連資料	なし				
<p>【該当するユーザ環境】 以下の関数をまとめて「httpc_XXX_with_sock ()」と記述します。 - httpc_get_with_sock () - httpc_post_with_sock () - httpc_put_with_sock () - httpc_delete_with_sock ()</p> <p>以下の条件をすべて満たした場合、httpc_XXX_with_sock ()がエラーでリターンすることがあります。 - httpc_XXX_with_sock ()で、HTTPキープアライブ有効かつka_retry=1として自動再接続を有効にして通信する。 - usessl=1としてSSL通信する。 - HTTPサーバがHTTPキープアライブタイムアウトでTCPを切断したあと、httpc_XXX_with_sock ()で再接続が発生する。 自動再接続が無効の場合や、SSLを使用しない場合は、該当しません。</p> <p>【障害内容】 HTTPは、TCP接続のオーバーヘッドを減らすために、HTTPキープアライブ機能があります。Cente HTTPcは、httpc_XXX_with_sock ()でHTTPキープアライブを使用できます。HTTPキープアライブ有効時でも、HTTPサーバは任意のタイムアウトでTCPを切断します。切断後のhttpc_XXX_with_sock ()でka_retry=1として自動再接続を有効にしているとAPI内で再接続します。 再接続時には、API内で通信 endpoint の削除と作成を行いますが、この通信 endpoint のIDをSSL使用時に更新しておらず、以前のIDで通信してエラー (HTTPC_E_CON) になることがありました。 このエラーが発生した場合、httpc_disconnect ()でHTTPcを切断して、再度httpc_XXX_with_sock ()を呼び出す必要がありました。</p> <p>【回避方法】 ミドルウェアのソースコードを修正し、通信 endpoint のIDをSSLで正しく使用するようにします。 詳細については、営業担当またはsupport_XXXatmarkXXX_cente.jpまでお問い合わせください (XXXatmarkXXX_は@にしてください)。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>					